

【2025 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
社会理論と社会システム		選択	2	1.2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
間嶋 健	B312	ken.majima	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>この社会はどのように成り立ち、どのように変化しているのだろうか。様々な社会現象はどのように生じているのだろうか。本授業ではこうしたことについて理解することを目的とする。</p> <p><概要>身の回りにあることから世界で起きていることまで、幅広い事柄を広い視野で見渡し、そのシステムやメカニズムについて理解と考察を深められるよう授業を進める。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	<input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> その他 ()	<input checked="" type="checkbox"/> デイスカッション・レポート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク	
学習上の助言	日常の出来事やニュースなど、ふと受け流してしまいがちなことについて少し立ち止まって考える姿勢を持ってほしい。リアクションペーパーやオフィスアワーを活用して理解や考察を深めてほしい。				
教科書	最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 3 社会学と社会システム/編: 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版				
参考書	特になし				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	人々の生活と人生の捉え方について理解し説明できる。		HSU(1)~(3)、HC(1)~(3)		
②	社会構造とその変動について理解し説明できる。		HSU(1)~(3)、HC(1)~(3)		
③	様々な社会問題について理解し説明できる。		HSU(1)~(3)、HC(1)~(3)		
④	自己と他者、相互行為、社会化について理解し説明できる。		HSU(1)~(3)、HC(1)~(3)		
⑤	社会学の展開・発展について理解し説明できる。		HSU(2)、(3)、HC(2)、(3)		
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	[オリエンテーション] 授業の進め方、評価方法、学習方法について理解する。	講義	シラバスを精読する。	4	
2	[人口・グローバル化] 人口動態とグローバル化の状況について学ぶ。	講義	教科書第 2 章第 3・4 節を精読する。	4	
3	[地域] 地域やコミュニティのあり方について学ぶ。	講義	教科書第 2 章第 6 節を精読する。	4	
4	[社会的格差] 社会的格差の状況について学ぶ。	講義	教科書第 3 章第 1 節を精読する。	4	
5	[社会政策と社会問題] 社会問題とそれに対応する社会政策について学ぶ。	講義	教科書第 3 章第 2 節を精読する。	4	
6	[差別と偏見] 差別と偏見のメカニズムについて学ぶ。	講義	教科書第 3 章第 3 節を精読する。	4	
7	[環境・災害復興] 環境問題と災害復興について学ぶ。	講義	教科書第 2 章第 7 節、第 3 章第 4 節を精読する。	4	
8	[健康・労働] 健康問題と労働のあり方について学ぶ。	講義	教科書第 4 章第 2・3 節を精読する。	4	
9	[家族とジェンダー] ジェンダーの視点からみた家族のあり方について学ぶ。	講義	教科書第 4 章第 1 節を精読する。	4	
10	[世代・社会化] 世代の捉え方と「社会化」について学ぶ。	講義	教科書第 4 章第 4 節、第 5 章第 2 節を精読する。	4	
11	[社会システム・社会変動] 社会システムのあり方と社会変動の推移について学ぶ。	講義	教科書第 2 章第 1・5 節を精読する。	4	
12	[組織と集団] 組織や集団の形成とあり方について学ぶ。	講義	教科書第 2 章第 2 節を精読する。	4	
13	[自己と他者・相互行為] 自己と他者の捉え方と「相互行為」について学ぶ。	講義	教科書第 5 章第 1・3 節を精読する。	4	
14	[社会学の歴史] 社会学の展開・発展について学ぶ。	講義	教科書第 1 章第 2 節を精読する。	4	
15	[まとめ] これまでの授業の総括を行う。	講義	これまでの授業内容を復習する。	4	

【2025 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照		
---	-----------------------	--	--

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		70	0	0	0	30	100
総合 力 指 標	知識・技術力	40	0	0	0	0	40
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	10	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	10	20

評価のポイント			評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
試験	①	✓	期末試験を実施し、記述式および選択式の問題を出題する。行動目標①～⑤について総合的な達成度を判断できるよう出題し、評価する。	正答や模範解答を Teams で公表する。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤	✓		
	⑥			
レポート	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	✓	授業終了後にリアクションペーパーを Teams にて提出する。授業内容の理解や取り組み状況等を確認し、評価する。	次回授業時にフィードバックを行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤	✓		
	⑥			

備 考

他 担 当 教 員	なし
教員の実務経験	なし
実践的授業の内容	教科書に記載されている一般的事項を踏まえながら、教員自身の実務経験で得た具体例（個人、団体等の特定ができないよう加工）を挙げて説明し、理論知と実践知の両面から理解を促すよう工夫する。
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> 授業翌日の 23:59 までに Teams でリアクションペーパーを提出すること。特段の事情なく提出期限を過ぎた場合は減点する。 受講の際には、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。また感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。